

3 研究日程

- 6月：実態調査 研究主題の設定
研究仮説の設定 研究計画の作成
- 8月：教材開発と教材研究
- 9月：指導計画作成 事前調査実施
- 10月：検証授業 授業考察
- 11月：事後研究実施 データ処理と考察
研究のまとめ

IV 研究の実際と考察

1 検証授業計画

- (1) 単元名 「地方の政治」
- (2) 学習指導計画 **仮説とのかかわり**

〈第1次〉

- 鶴ヶ城に関する資料の読み取り
- 単元課題の設定

・単元を通した魅力ある課題を設定する。

『鶴ヶ城本丸入城有料化に賛成か、反対か』

- 課題に対するディベート的な話し合い活動
- 学習計画の作成

・ディベート的な話し合いの方法を学ばせる。

・単元を通した課題解決的な学習の見通しを持たせる。

・思考・判断の推移を把握していくために、
〈自己評価表〉と〈名札マグネット〉を導入する。

〈第2次〉

- 会津若松市の仕事（政治）、行政のしくみ、財政の現状の調べ学習
- 住民の地方公共団体への働きかけの方法の調べ学習

・多面的、多角的な見方や考え方を持たせる。

・思考・判断力の推移を把握する。

【資料-1 「自己評価表」】

時間	学習のめあて	学習状況の振り返り ※理由を述べる	自己評価 A:よくできた B:だいたいできた C:あまりできなかった D:全然できなかった
6 7 8	自分の考えを裏づける資料を作成しよう。	賛成・反対 若松市の財政とが、本当に正しい。	<input type="checkbox"/> 協力して取り組むことができたか。 <input type="checkbox"/> 自分の考えを裏づける資料を作成することができたか。 <input type="checkbox"/> 自分の考えに自信があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 自信あり <input type="checkbox"/> だいたい自信がある <input type="checkbox"/> あまり自信がない <input type="checkbox"/> 全然自信がない
9	学習のめあて:ディベートで考えを深めよう。	私はこの授業で論議の <input checked="" type="checkbox"/> 賛成側のディベーター <input type="checkbox"/> 反対側のディベーター <input type="checkbox"/> 観覧者	<input type="checkbox"/> 姿勢・態度はどうか。 A・B・C・D <input type="checkbox"/> わかりやすい意見を述べることができたか。 A・B・C・D <input type="checkbox"/> 説得力のある話し方ができたか。 A・B・C・D <input type="checkbox"/> 資料をうまく活用できたか。 A・B・C・D <input type="checkbox"/> 自分の考えを深めることができたか。 A・B・C・D

最後に
私はこの論議問題に「**賛成**・反対」です。
なぜならば、
「伝統ある鶴ヶ城を、いい状態で残していくためには、今の鶴ヶ城の経営では足りないと思うから。」

【資料-2 「名札マグネット」】



〈第3次〉 【検証授業】

- 課題に対する調べ学習を通して、自分の意見をまとめる。

・調べ学習に教師が適切な支援を与える。

・社会的な思考力・判断力を身に付ける学習活動を行わせる。

- ディベート的な話し合い活動による課題解決

・ディベート的な話し合い活動を通して、多面的、多角的な見方や考え方を持たせながら、社会的な思考力・判断力の育成を図る。